

ヨコハマ市民まち普請事業

第2次整備提案書



※ 記入上の注意

- 2号様式はページを増やさず、必ず3ページ以内でまとめてください。
- 2号様式は市民に公開しますので、個人が特定できる情報は記入しないでください。

1 整備提案の概要について

整備提案名	地域に愛される浜マーケットを次世代に残そう！
提案グループ名	商店街活性化×若者の働く場創出プロジェクト
整備場所の所在地 (町名又は丁目まで記入)	磯子区久木町・20-4~5
整備したい施設の概要	第一次審査の時点では休憩所の改装と看板、アーケードという内容だったが、その後 再建予定地のマーケット西側の土地に仮設建物を建て、地域の人たちが利用できるスペースを設置する事を計画した。
整備助成金申請 予定額	500 万円
設計及び整備の スケジュール	3月末 設計図の作成 4月、5月 発注および、施工準備 6月 撤去および、基礎工事 7月~8月 施工（夏休みにあわせて、地域の人と一緒に） 9月 竣工予定

2 創意工夫について

<p>計画について、特に工夫した点を記入してください。 (住民等が持つ発想、方法などを生かしたアイデアやユニークさ及びデザインへの配慮)</p>	<p>【具体的な内容の変更】 浜マーケットは現在、火事後の再建計画が一方で進む中での計画となり、流動的な事柄がこの間も多かった。 そのため、検討会は頻繁に行われ、本当に地域の人たちや浜マーケットの人たちに必要で喜ばれるものを作るために検討を重ねた中で集約された内容に沿い、仮設建物建築が提案された。</p> <p>【建物のデザイン等について】 仮設建物は地権の問題のない部分に建築するが、小さなスペースであるために開放できる部分を多くし、アーケードと一体化することができるように工夫した。また、分断されてしまった商店街をつなぐ役割としての機能が大きい。いわゆる市場のテントのような役割を果たす事を目的としているため、素材もテント（不燃）素材を使用し、浜マーケットが始まった当時の赴きを再現する事も含まれている。 使用に際しても当時の一軒間口の店舗を再現する事ができたり、また、仕切りによってはそのまま広く使う事も可能になっている。</p> <p>【地域の人たちと若者達・子供達で作る】 基礎などは専門業者に頼むが、他の作業は基本的に地域の人達や若者達が中心となって作る。この作業をする事によって、地域の人達、特に若い人達がこの場所に興味を持ちが浜マーケットに感心を持つきっかけを作る。</p>
--	---

<p>整備における地域での費用や労力の負担について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>※ 詳細については、「想定整備費用内訳書（第3号様式）」に記入してください。</p>	<p>これまでの計画については、それぞれの分野の協力者が無償で労働・アイデアを提供してくれた。</p> <p>今後の計画の実施に際しては、基礎工事等については地元の業者に安価で施工してもらえるように交渉中である。</p> <p>また、その他の工事については地域のボランティア、協力者の力で作る予定。</p> <p>施工の日程を夏休みに計画しており、<u>ニートの若者や学校に通っている学生たち（小・中・高・大）親子連れなど、様々な人たちが一緒に参加して作りたいと考えている。</u></p>
<p>整備した施設の維持管理・運営^{注5)}計画及びその実施方法などについて、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>注5) 施設を活用したまちづくりイベント等を含む。</p>	<p>【維持・管理】</p> <p>整備した施設は基本的には商店街理事会が管理し、修繕等については商店街と地域の協力者で行う。</p> <p>また、建物の使用についての調整は商店街が中心となり行う。</p> <p>【運営の計画】</p> <p>火事後は町内会や子ども会、地域のグループが跡地を利用してイベント等を行ったが、屋根がないことで雨、日を凌げずに大変苦労した。この建物ができる事で、地域のイベント等を気軽に行うことができる、買い物客や地域の人たちの休憩所として、またチャレンジショップ等こどもや団塊世代の再チャレンジの場としても利用価値が高い。</p>

3 実現性について

<p>地域（地権者、整備場所の近隣住民、地域住民、自治会町内会等）での合意形成や関係機関との調整結果の概要について記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 地権者への合意は今回の提案メンバーの一人でもある商店街理事会（理事長）を通してできている。 ● 近隣の人たちへの理解や協力は現在までの数回にわたるイベント等で事業の内容を説明してきた。今後も2次審査、施工までの間に引き続き、この事業でできる建物で地域の人たちが何をしたいか？などをアンケートをとるなどのイベント等を商店街と協力しながら実施していく予定。 ● 法的な問題については、横浜市の方をお願いをしている。
--	---

4 公共性について

<p>地域のどのような課題やニーズに基づいて整備計画が作成されたのか、また整備した施設が地域にどのくらい貢献するか記入してください。</p> <p>※ 第1次整備提案書よりも具体的に記入してください。</p>	<p>【検討の経過】</p> <p>①一時審査時より目的としている『<u>地域に愛される浜マーケットを次世代に残す</u>』というミッションを念頭に置き、提案内容にこだわらず、協力者や浜マーケットのメンバーが集まり検討を重ねた。</p> <p>* 浜マーケットが火事により分断されていることが、マーケットの特性を失わせている。→分断されたマーケットをつなぐ事が大切である。</p> <p>* 浜マーケットは地域における重要なコミュニティスペースである</p> <p>* 商店街に以前のようにぎわいをとりもどしたい。</p> <p>様々な話の中から上記のような問題点・課題に絞られてきた。</p> <p>②再建計画の経過とともに、マーケット左側の土地の問題（長期に再建の見込みが立たない）があがってきた事から、この場所に地域の人たちやマーケットの人たちが必要とする事、上記の検討課題を解決するようなものを作る事になった。</p> <p>【地域への貢献】</p> <ul style="list-style-type: none"> ① 建物が建つことでの物質的な貢献 ② 浜マーケットらしい外観を残す意味での地域財産としての貢献 ③ 人とのつながりを作る意味での人的貢献
--	---

5 費用対効果について

<p>整備コスト縮減について、特に工夫した点を記入してください。</p> <p>(材料の調達方法や施工業者への発注方法など)</p> <p>※ 整備に要する費用や労力の負担については、「2 創意工夫について」に記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ できるだけ規格の木材や素材を使う事で価格を抑えると共に一般の人でも製作に参加できるように工夫している。→労力の負担軽減にもつながる。 ○ テント素材は不燃素材を使い、火災等でも燃えないものを使用している為、安価な素材よりも割高ではあるが、近隣住民への配慮、<u>安心・安全</u>の意味でこの素材を使う意味は大きいと考えている。 ○ 基礎工事などの施工は商店街と馴染みの地元業者をお願いすることで、経費を抑える予定をしている。
--	---

6 地域まちづくりへの発展性について

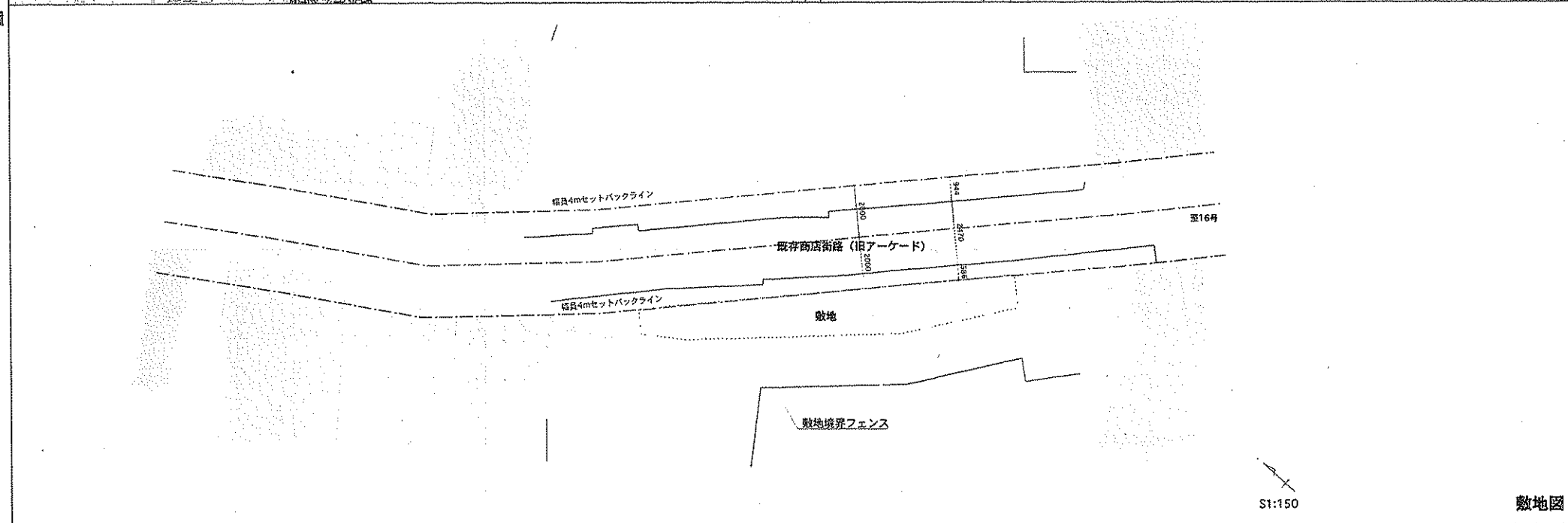
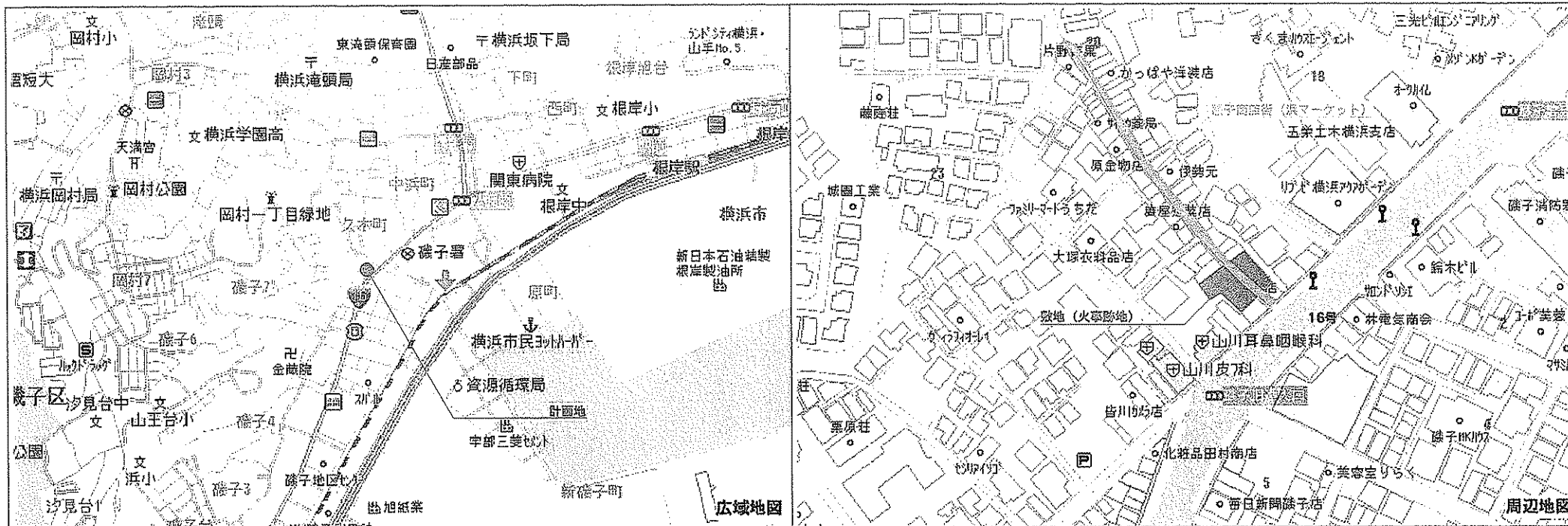
<p>整備をきっかけとして、地域コミュニティが広がる又は深まる可能性、及び地域のまちづくり活動が活発化する可能性について記入してください。</p>	<p>火事から8ヶ月が経過し、地域の人たちの関心はだんだん薄れてきていると感じる。</p> <p>この整備をきっかけとして、一時は浜マーケットのためにと集まった地域の力を使い、マーケットににぎわいを取り戻し、地域のコミュニティースペースとして盛り上げるきっかけ作りとなると確信している。</p> <p>今、地域の人たちは浜マーケットのために何かしたいという潜在的な力が沢山あるが、具体的な仕事がないために活用できないでいる。そのような力を活かし、地域と若者・子供達をつなげていく事ができる。</p> <p>また、出来上がった場所を使って、フリーマーケットやコンサート、浜マーケットの一件間口店の再開など、楽しいイベントを気軽に開催する事ができ、有効に活用される事は間違いない。</p>
---	--

7 特にPRしたい点について

<p>提案について特にPRしたい点があれば、記入してください。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ○ 一次審査からこの間、既に数回のイベント等を通して様々な活動を行ってきた中で「まち普請事業」の協力者(大学生)が中心となり、子供の地域活動拠点となっている店舗の改装などを行ってもらった事など、いままでこの商店街には入ってこなかった<u>年齢や職業・バックグラウンドを超えた人たちとのつながりや協力を得られた</u>。この事は若者の就労の場創出の意味においても、すでに大きな成果を得ている。 ○ 今回提案する細長い仮設建物は分断された商店街をつなぐ役目として、地域にいる様々な年齢や状況の人と人をつなぐ役として、大変重要な役割をすると確信している。 ○ この事業を通して、浜マーケットで起きた火災という「悲劇」を良い方向に転じ、新たな地域の発展へつなげる役割を担いたいと思っている。
-------------------------------------	---

記載内容について次の点を確認後、チェックボックスに✓を入れてください。

- 記載内容は真実であり、虚偽はありません。
- 記載内容に個人情報はありません。



図面提案名 地域に愛される浜マーケットを次世代に残そう！	添付資料番号 添付書類2- (1)	図面名称 位置図	縮尺 S1:150	作成 2007.12.12
---------------------------------	----------------------	-------------	--------------	------------------

再建計画敷地

既存アーケード支柱

幅員4mセットバックライン

至16号

既存商店街路(旧アーケード)

幅員4mセットバックライン

小屋(提案)

2×10材を使った柱と梁

モルタル仕上の土間

敷地境界フェンス

用途：休憩、イベント用仮設小屋
 建築面積：23m²
 基礎：コンクリート
 主構造：鋼管、木材
 外装：不燃テント膜
 設備：無し



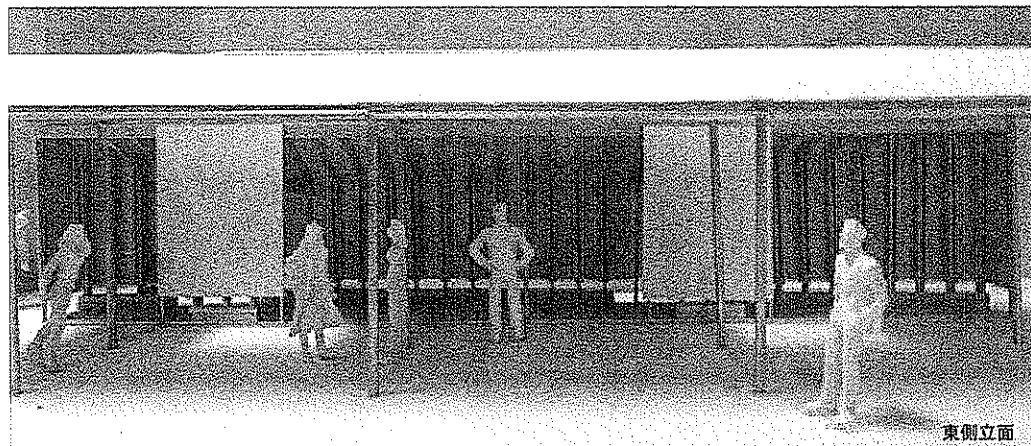
ヨコハマ市民まち普請事業

想定整備費用内訳書

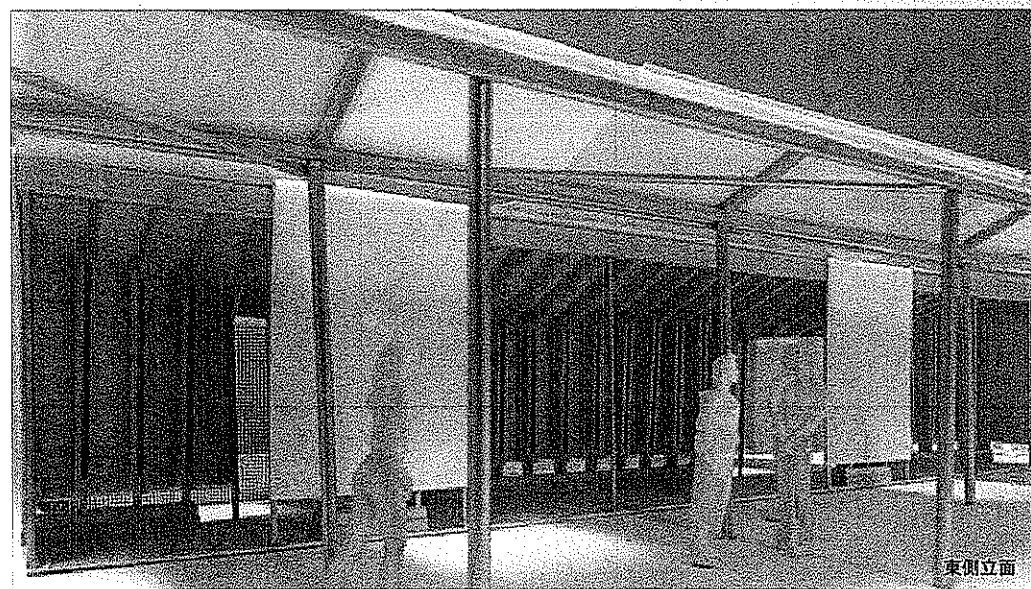
※ 記入上の注意

- 「主な整備項目」「細目」欄の記入にあたっては、事務局と事前に十分調整してください。
- 「数量」欄については、やむを得ない場合を除き、「一式」と記入しないでください。
- 「地域住民等の参加」欄については、例えば地域が労力を負担する場合は、何人くらいが何日間くらい作業を行うかなど、できるかぎり具体的に記入してください。（見込みも含めて記入してください。）また、小中学校や子供会などが参加する場合は、その旨を明記してください。

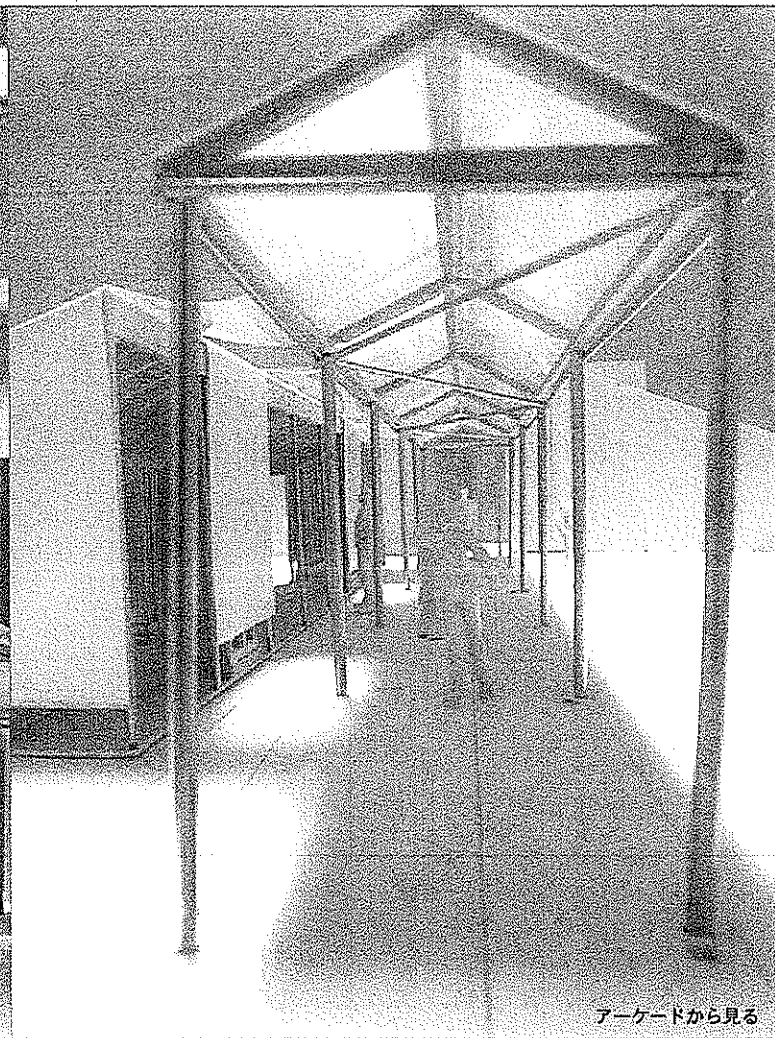
主な整備項目	細目	数量	単価	計	地域住民等の参加 （費用又は労力の負担等）
基礎・床	土間コンクリート	30m ²	10,000/m ²	300,000	
構造（鋼管）	STK51:3m	10本	3,000/本	30,000	
	STK51:2m	10本	2,000/本	20,000	
	ベース	20個	3,000/個	60,000	
	支柱金物	20個	2,000/個	40,000	
	ボルトナット等	一式		100,000	
	建方（施工費）	一式		500,000	
構造（木）	240×120×2m	20本	10,000/本	200,000	
	2×10	150本	3,500/本	525,000	
	構造用合板（t24）	50枚	6,000/枚	250,000	
	柱受金物	50個	2,000/個	100,000	
	あおり止め金物	1箱	3,500/箱	5,000	
	ボルトナット等	一式		100,000	
	防水塗装	一式		200,000	
	木工費	一式		500,000	
外装	不燃テント膜	112m	7,500/m w1m	840,000	
	縫製施工費	一式		200,000	
他	雑費			320,000	
	道具 （脚立、ドリル等）	一式		200,000	
	設計監理費			500,000	
合 計				5,000,000	



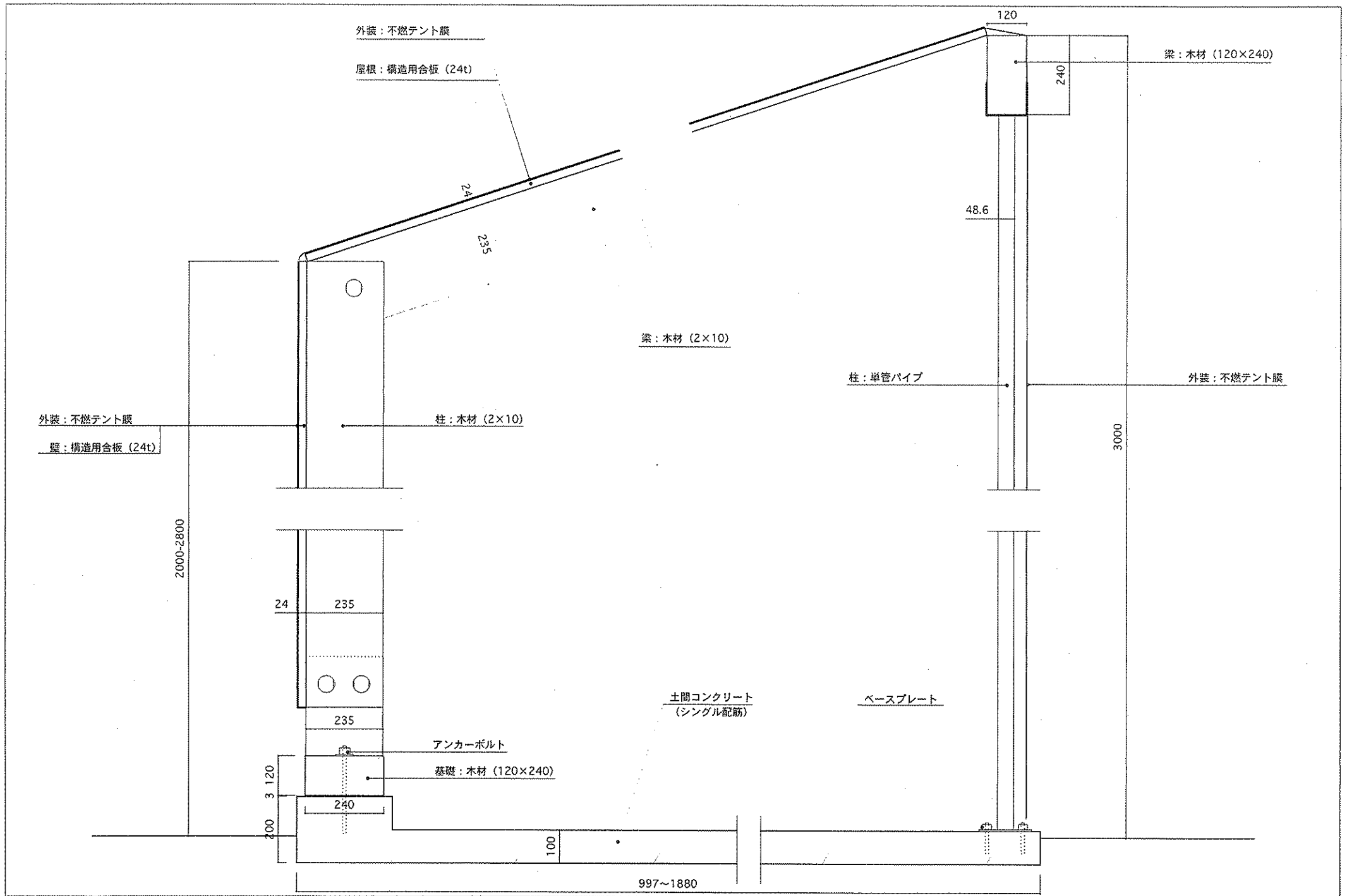
東側立面



東側立面



アーケードから見る



【参考資料】

一次審査～現在までのイベントの報告

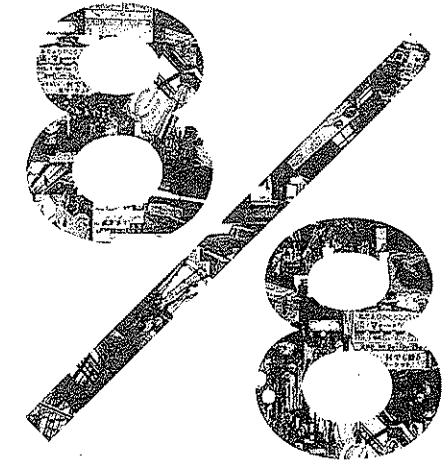
① 8月8日 「浜のヒミツを探そう！」 イベント

このイベントでは、まずは浜マーケットの魅力を商店街の人達、地域の人達に再認識してもらいたいという目的で実施した。一部では子ども達にデジカメを持ってもらい、浜マーケットの色んなところを撮ってきてもらうという作業をした。子ども達は思いのほか、色々なものを見つけてきたり、歩き回って写真を撮ってくれた。

後半、夕方から火事跡の場所を使って、写真の上映会。
広々となってしまった場所を使い、スクリーンを設置、テーブルと椅子を置いて、野外映画会のように、今までにない雰囲気と利用法で、道行く人達が立ち止まり見て行った。
「まち普請事業」の説明と期待することをアンケートとして配り、記入してもらった。

子どものイベント参加者：12人 ボランティアスタッフ：14名 上映会の参加者：35名（約）
アンケートから・・・浜マーケットにあったらいいと思うもの：
ガーデンテラスのようにしては・・・、寺子屋のような子どもの学び場がほしい、外国人のための生活の勉強の場
子どもが育つ場、憩いの場がほしい・・・など

成果：子ども達の目線を通して、マーケットの魅力を地域の人達にアピールする機会となった。
火事跡地をいままでと違った利用法でマーケットや地域の人達に新しい提案ができた。
まち普請事業について、イベントを通して地域の人達に知ってもらう機会となった。



8/8 浜のヒミツを探そう！

第一部 浜のヒミツを撮ろう 13:00～15:00

デジカメをもって、浜マーケットを撮っちゃおう。こどもも大人も歓迎
13:00 イントロダクション カメラミニ講習会
14:00～15:00 撮影タイム みんなで浜マーケット探検！おもしろい写真を撮りまわそう！

参加無料

第二部 浜のヒミツ上映会 18:00～20:00

第一部で撮った浜のヒミツを上映しながら浜の魅力を発見しよう。
生ビール、その他ドリンク、おつまみ、園台あり(有料)

このイベントを通してみなさんも浜マーケットの復興支援活動に参加しませんか！！

主催：商店街活性化×若者の働く場創出プロジェクト 協力：みかんぐみ
このイベントはJCOハマまち普請事業により開催されます。

まち普請事業は横浜市新市総務局から助成をうけて、市民が変え、行動するまちづくり事業です。

問い合わせ：045-752-5066 090-4544-1699 (岩本)



イベント第二弾

② 9月15日 「トッテ・おき・商店街」

一次審査の後、ミーティングを重ねる中で商店街が火事にあつたところと焼け残って営業しているところの2つに別れている事を感じてきた。協力者の須賀くんを中心とした大学生達が商店街に入り、焼け残ったところを含めた浜マーケット全体を考えるイベントを企画したいと自ら案を出してくれた。

商店街全体を毎日数名で測量し、模型を作成。商店街全体の模型を元に、どんな商店街にしたいか？を子ども達や商店街のお客さんたちに考えてもらった。

商店街の買い物客や店主さん達は「何をやっているのか？」と覗きに来て、模型のなかのどこが自分の店かなどを説明するととても喜んでみていった。

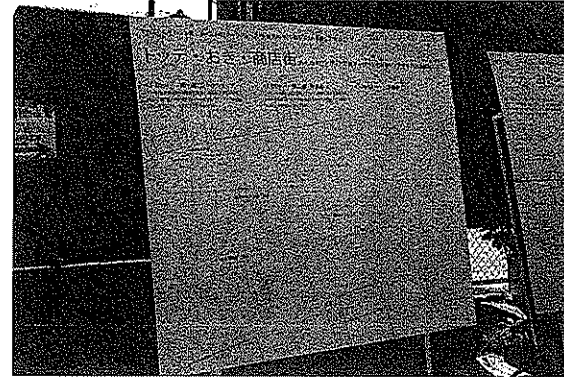
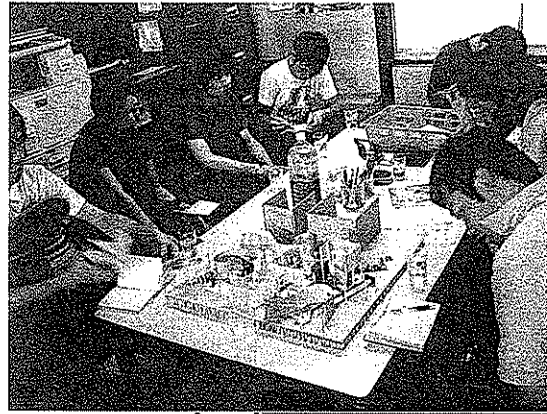
イベントの後、商店街理事長の小島家さんで打ち上げを兼ねたミーティングを実施した。

今回参加してくれた学生さんたちと商店街の若手の人達が集まり交流し、まち普請事業の説明、商店街の今後について話し合った。今後は月一回のペースでミーティングを行う事を決めた。

当日はTV、新聞社の取材もあり、毎日新聞、神奈川新聞で取り上げられた。

成果：大学生など浜マーケットとのつながりがあまりなかった年代の若者が関わる機会となった。

まち普請事業について、具体的な計画について商店街の若手の人達に説明し、話し合いができた。



まち普請イベント第二弾・工作製ワークショップ・参加無料・持ち物不要！お気軽にご参加ください！

9月15日

トッテ・おき・商店街

みんなのアイデアで浜マーケット全体をトッテオキの商店街にしよう！

※事前予約は不要です。お申し込みは不要です。当日は浜マーケットの受付にて受付となります。お申し込みは不要です。当日は浜マーケットの受付にて受付となります。お申し込みは不要です。当日は浜マーケットの受付にて受付となります。

日時：9月15日（土）15時から 集合場所：浜マーケット・16号側入り口特設テント

15:00～ 第一部 ワークショップ
ワークショップの内容は、まち普請事業の説明、商店街の今後について話し合うこと。お申し込みは不要です。当日は浜マーケットの受付にて受付となります。

18:00～ 第二部 発表会
ワークショップの内容は、まち普請事業の説明、商店街の今後について話し合うこと。お申し込みは不要です。当日は浜マーケットの受付にて受付となります。

19:00～ 交流会

※お申し込みは不要です。当日は浜マーケットの受付にて受付となります。

このイベントを通して浜マーケットの復興支援活動に参加しませんか！ このイベントは、浜マーケットの復興支援活動の一環として開催されます。まち普請事業の復興支援活動の一環として開催されます。まち普請事業の復興支援活動の一環として開催されます。

